

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-64061(P2014-64061A)

【公開日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-018

【出願番号】特願2012-206313(P2012-206313)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

G 03 B 15/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/225 A

H 04 N 5/91 J

H 04 N 5/91 Z

G 03 B 15/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月14日(2015.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像光学系により結像された被写体像を撮像素子により光電変換して画像信号を生成する撮像手段を備え、該撮像手段を複数の撮影モードで動作させることができ撮像装置であって、

ユーザにより指定された、撮影シーンに関する1つ以上のキーワードを設定する設定手段と、

前記設定された1つ以上のキーワードに対応する1つ以上の撮影モードを前記複数の撮影モードから選択する選択手段と、

前記撮像手段により生成された画像信号に基づいて撮影シーンを判別する判別手段と、

前記選択された1つ以上の撮影モードと前記判別された撮影シーンとに基づいて、撮影パラメータを生成する生成手段と、

前記生成された撮影パラメータを用いて前記撮像手段の動作を制御する制御手段と、  
を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記生成手段は、

前記判別された撮影シーンに対応する撮影モードが前記選択された1つ以上の撮影モードに含まれる場合、該対応する撮影モードに基づいた撮影パラメータを生成し、

前記判別された撮影シーンに対応する撮影モードが前記選択された1つ以上の撮影モードに含まれない場合、デフォルトの撮影モードに基づいた撮影パラメータを生成することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記1つ以上のキーワードは、撮影時期、撮影場所、撮影対象、撮影方法に関するキーワードを含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の撮像装置。

**【請求項 4】**

前記設定手段は、

撮影時期、撮影場所、撮影対象、撮影方法に関する複数のシナリオ項目から、ユーザにいずれか1つを選択させるための項目選択画面を表示する手段と、

前記項目選択画面を介してユーザにより選択されたシナリオ項目に応じた複数のキーワード候補から、ユーザにいずれか1つを選択させるためのキーワード選択画面を表示する手段と、

を含むことを特徴とする請求項3に記載の撮像装置。

**【請求項 5】**

前記撮像光学系によるズーム機能及び前記撮像装置の振れを補正する手振れ補正機能の少なくともいずれかを備える撮影アシスト手段と、

前記設定手段により設定された1つ以上のキーワードに応じて前記撮影アシスト手段を制御する撮影アシスト機能制御手段と、

を更に有することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の撮像装置。

**【請求項 6】**

撮像光学系により結像された被写体像を撮像素子により光電変換して画像信号を生成する撮像手段を備え、該撮像手段を複数の撮影モードで動作させることができ撮像装置の制御方法であって、

設定手段が、ユーザにより指定された、撮影シーンに関する1つ以上のキーワードを設定する設定ステップと、

選択手段が、前記設定された1つ以上のキーワードに対応する1つ以上の撮影モードを前記複数の撮影モードから選択する選択ステップと、

判別手段が、前記撮像手段により生成された画像信号に基づいて撮影シーンを判別する判別ステップと、

生成手段が、前記選択された1つ以上の撮影モードと前記判別された撮影シーンとに基づいて、撮影パラメータを生成する生成ステップと、

制御手段が、前記生成された撮影パラメータを用いて前記撮像手段の動作を制御する制御ステップと、

を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

**【請求項 7】**

コンピュータに、請求項6に記載の撮像装置の制御方法の各ステップを実行させるためのプログラム。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

撮影アシスト機能制御部815は、シナリオから選択した撮影アシスト機能に基づいて、ズーム入力部816から入力されるズーム値から、光学系駆動部102におけるズームアクチュエータに入力するズームパラメータを生成する。また、撮影アシスト機能制御部815は、手振れ情報検出部817から入力される手振れ情報より、光学系駆動部102におけるシフトレンズアクチュエータに入力するシフトレンズパラメータを生成する。本実施形態においては、この生成されたシフトレンズパラメータをシフトレンズアクチュエータに設定することでレンズ位置を制御し、手振れ補正を行う。また、手振れ情報検出部817は、例えば、特開平6-194729号公報に示されるような、ジャイロセンサーに代表される角速度検出部から得られる角速度情報より手振れ情報を算出する。\_\_\_\_\_